



砂浜活性化プロジェクト

～高石市に砂浜があることを知っていますか？～



ホームページはこちら



砂浜活性化プロジェクトについて

・高石市の高師浜は、古くは万葉集の歌にも詠まれた白砂青松の美しい海岸線として知られ、明治時代は、関西一円の人々に親しまれる海水浴場でしたが、現在の砂浜は約100メートルを残すのみとなりました。

・高石市の海の変遷を見守ってきたこの砂浜で、イベントを開催することで、市内外の人々の交流を促し、公民連携による砂浜の整備・活性化や海の生物や環境への意識も高め、最終的には経済と環境の共生を目標に掲げています。

・砂浜活性化プロジェクトは、高石市も会員である瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の活動のひとつであり「受け継ごう きれいで豊かな瀬戸の海」を合言葉としている「リフレッシュ瀬戸内」の一環として行っています。



人々が集まる砂浜になる未来を目指して…

砂浜活性化プロジェクトについて

第1弾

令和6年8月22日



第2弾

令和6年11月10日



第3弾

令和7年3月30日



第4弾

令和7年6月28日



第5弾

令和7年10月4日



砂浜活性化プロジェクトの最大の特徴は、高石市を中心に、市民・地元ボランティア団体・民間企業が連携し、企画から運営までを地域主体で自走している点です。行政が一方向的に主導するのではなく、それぞれの立場や強みを生かしながら役割を分担し、「自分たちのまちのイベント」として関わる仕組みを作りました。また、イベントの広報においても外部委託に頼らず、チラシは市職員自らが制作し、市公式SNSでは毎週砂浜の近況を投稿するなど、伝えたいメッセージを自分たちの言葉で発信しています。天然の砂浜を守りながら、環境の大切さや地域とのつながりを次世代に受け継いでいきたいと思います。

これまでの砂浜活性化プロジェクト

第1弾

まずは砂浜に関心を持ってもらうため、砂浜の清掃イベントを実施しました。8月という暑い中ではありましたが、「砂浜をきれいにしたい」という地元市民や臨海企業の方など約100名にご参加いただき、ゴミはあつという間に集まりました。



第2弾

砂浜清掃だけでなく、高級食材としても知られるキジハタと海の掃除屋と呼ばれるナマコの放流や今後の砂浜についてのワークショップも行いました。ワークショップでは、「きれいにしたい」「泳ぎたい」「魚を釣りたい」などたくさんの意見が集まりました。そのほかにも、マルシェの開催や講師による海や生き物のお話など盛りだくさんな1日となり、約300名の来場者となりました。



これまでの砂浜活性化プロジェクト

第3弾

砂浜清掃、稚魚放流、マルシェに加えて、アマモ移植祭を行いました。「海のゆりかご」と呼ばれるアマモは、生物の生息環境を改善し、稚魚や生きものが集まる環境を作ってくれます。今回、NPO法人大阪海さくらさんのご協力のもと、アマモを砂浜に移植しました。田中正視先生によるアマモについての講演のほか、「地球☆プロテクトとあるた」さんによるマイクロプラスチックゴミの寸劇も開催されました。こどもから大人まで約350名の方々に参加していただきました。また本市の稚魚放流が全国豊かな海づくり大会「魚庭(なにわ)の海おおさか大会」記念リレー放流の第1回目に位置づけられました。



これまでの砂浜活性化プロジェクト

第4弾

砂浜清掃・アマモの観察・稚魚放流・マルシェのほかに、砂浜に興味を持っていただくきっかけづくりとして新たな企画を行いました。高石市漁業協同組合の方々にご協力いただき実施した、大阪湾で取れた魚を使った炊き込みご飯のプレゼントは大好評でした。

そのほかにも

- ・海のお魚クイズ大会
- ・おさかな塗り絵アート
- ・オリジナルTシャツのプレゼント企画
- ・オリジナルペイントシールの配布

などこどもたちが楽しめる企画もたくさん実施し、過去最多の約500名の方々に参加いただきました。



これまでの砂浜活性化プロジェクト

第5弾

砂浜清掃や音楽イベント、マルシェのほか、浜寺公園自然の会さんによる生き物観察&クイズ、取石清掃さんによる海洋ゴミアート制作、砂浜オリジナルTシャツが当たるじゃんけん大会などを実施しました。

海洋ゴミアートでは、海に流れ着いたゴミを再利用し、こどもたちが自由に制作している姿が印象的でした。

午前中から小雨が降るあいにくの天気でしたが、こどもから大人まで、100名以上の方々にご参加いただき、今後の砂浜の活性化へさらなる一歩となりました。

また、当日行った来場者アンケートでは、回答者の6割の方が砂浜活性化プロジェクトに2回以上ご参加いただいているという結果も出ており、砂浜活性化プロジェクトの認知度が上がっていることが実感できました。



今後の砂浜活性化プロジェクト

- 第6弾 令和8年3月20日(金) 実施
内容: 砂浜清掃、アマモ移植祭、稚魚放流、マルシェ、音楽イベント
漁師汁の提供、砂浜綱引き

- 令和8年度
第7～9弾 6月・9月・3月頃 実施予定



高石市は令和8年度に市制施行60周年を迎えます。

砂浜活性化プロジェクトにおいても、60周年記念事業として新しいことに積極的に取り組んでいきます。

一過性の取り組みで終わらせることなく、砂浜を核とした継続的な交流と賑わいを創出することで、砂浜そのものを価値ある地域資源として育てていくことを最終目標としています。

本事業で生まれた地域連携の仕組みを土台に、将来的には地域主体による自立的な運営体制を確立し、海業の活性化や民間事業者の誘致を目指します。

また、令和8年度は大阪府で『全国豊かな海づくり大会』が開催されます。本事業では稚魚放流を実施しているため、同大会との連携についても積極的に模索していきます。